

東ト協ドラコン入賞者一覧

部門・順位	選手氏名	所属事業所名
東京都知事賞		
11トン	久保寺 哲也	日本通運東京支店ロジスティクスオペレーション部輸送課(平井)
各部門上位入賞者		
2トン	1位 森 信二	多摩運送本社
	2位 和田 晃一	多摩運送本社
	3位 草島 大地	ハナワトランスポート首都圏エリア事業部・東京営業所
	4位 鶴川 真樹	アサヒロジ平和島支店
	5位 橋倉 大介	アサヒロジ西多摩出張所
4トン	1位 齊藤 哲也	西濃運輸八王子支店
	2位 柳澤 優斗	ハナワトランスポート首都圏エリア事業部・東京営業所
	3位 倉持 和季	日本通運東京支店ロジスティクスオペレーション部輸送課(平井)
	4位 永井 崇生	西濃運輸錦糸町支店
	5位 磐上 良介	日本通運多摩支店輸送課
11トン	1位 久保寺 哲也	日本通運東京支店ロジスティクスオペレーション部輸送課(平井)
	2位 柘井 哲平	日本通運東京海運支店自動車事業所
	3位 高橋 昭夫	多摩運送本社
	4位 藤平 拓実	日本通運東京支店ロジスティクスオペレーション部輸送課(北砂)
	5位 吉海江 実	NXキャッシュ・ロジスティクス関東支店
トレーラ	1位 井口 淳	日本通運東京海運支店自動車事業所
	2位 井上 篤史	日本通運東京支店コンテナオペレーション部輸送課
中小企業最優秀者賞		
4トン	柳澤 優斗	ハナワトランスポート首都圏エリア事業部・東京営業所
東京運輸支局長賞 関東交通共済協同組合理事長・東京自動車販売協会会長賞		
11トン	日本通運東京支店ロジスティクスオペレーション部輸送課	



左から各部門優勝者のトレーラ部門・井口さん、総合優勝の11トン部門・久保寺さん、水野会長、4トン部門・齊藤さん、2トン部門・森さん

第47回 東ト協ドライバー・コンテスト

各部門の上位入賞者は表の通り。2トン部門は多摩運送本社(多摩支部)の森信二さん、4トン部門は西濃運輸八王子支店(全流協)の齊藤哲也さん、11トン部門は日本通運の久保寺さん、トレーラ部門は日本通運東京海運支店自動車事業所(港支部)の井口淳さんが、それぞれ優勝した。今大会には会員事業者のプロ・トラックドライバー36人がエントリー。

各部門の上位入賞者は表の通り。2トン部門は多摩運送本社(多摩支部)の森信二さん、4トン部門は西濃運輸八王子支店(全流協)の齊藤哲也さん、11トン部門は日本通運の久保寺さん、トレーラ部門は日本通運東京海運支店自動車事業所(港支部)の井口淳さんが、それぞれ優勝した。今大会には会員事業者のプロ・トラックドライバー36人がエントリー。

総合優勝は11トン部門・久保寺さん(日本通運)

東京都トラック協会(水野功会長)は6月8日、東ト総合会館で令和8年度「第47回東ト協ドライバー・コンテスト表彰式」を開催した。今大会では、11トン部門に出場した日本通運東京支店ロジスティクスオペレーション部輸送課(平井(港支部)の久保寺哲也さんが、各部門を通じて最高得点の成績を収めて総合優勝を果たし、東京都知事賞を受賞。都内ナンバーワンのプロ・トラックドライバーの栄冠に輝いた。

4月23日に東ト総合会館で学科競技、5月31日に警視庁府中運転免許試験場(府中市)で実科競技が行われ、選手たちは日頃培った安全運転の知識と技術を競い合った。なお、今大会は例年より参加者が少なかったことから、特例として学科競技の出場者全員(辞退者を除く)が実科競技に進出できる措置がとられた。



組合の小塚正和専務理事より、同組合理事長・東京自動車販売協会会長賞が贈られた。

表彰後、水野会長はあいさつで選手の健闘をたたえ、「プロドライバーとしての社会的責務を自覚し、安全・安心、無事故・無違反を徹底してほしい。一般ドライバーの模範となり、継続的な努力を通じ、安全意識とトラックドライバーの社会的評価の向上に努めてほしい」と期待を寄せた。また、来賓を代表して祝辞を述べた吉田調整課長は、「都民生活は、トラックドライバーの皆様の日々の努力に支えられている。東京の物流を担うプロドライバーとして、今後のさらなる活躍を願う」とエールを送った。

「コンテスト」の東京都代表選手選考を兼ねており、東ト協ドライバー・コンテスト検討小委員会の審査を経て代表選手を決定する。

この後、大会実行委員長の森本勝也副会長が閉会のあいさつを述べた。なお、本大会は警視庁交通部との共催、東京都

紙面あんない

全ト協トラック関係施策に関する要望
厚労省、雇用調整助成金の活用を 2
東ト協が初任運転者特別講習開催 3
厚労省、令和7年労災発生状況 4
東ト協連が8年度通常総会を開催 6
7

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R230

交通安全へプロの規範を示す

交通安全へプロの規範を示す

交通安全へプロの規範を示す

東ト協で7/14まで受付中

全日本トラック協会は、令和8年度の「道路情報の電子化」「重さ指定道路」および「高さ指定道路」の指定を希望する事業者から、全ト協道路関係要望を受付中。

道路関係要望を受付中

「重さ指定道路」の指定を希望する事業者は、令和8年度の「道路情報の電子化」「重さ指定道路」および「高さ指定道路」の指定を希望する事業者から、全ト協道路関係要望を受付中。

「高さ指定道路」の指定を希望する事業者は、令和8年度の「道路情報の電子化」「重さ指定道路」および「高さ指定道路」の指定を希望する事業者から、全ト協道路関係要望を受付中。

「道路情報の電子化」「重さ指定道路」「高さ指定道路」

改正物流特殊指定告示へ着荷主の行為を規制対象

改正物流特殊指定告示へ着荷主の行為を規制対象

原材料高騰や入手難にも

雇用調整助成金が活用できます

対象となる事業所

助成内容

中小企業	大企業
2/3	1/2

厚生労働省

中東情勢による原材料の入手困難や価格高騰等により、事業活動が滞り、従業員を必要なくした場合は、雇用調整助成金が活用できます。

対象となる事業所

助成内容

中小企業 2/3、大企業 1/2

雇用調整助成金は、事業活動が滞り、従業員を必要なくした場合は、雇用調整助成金が活用できます。

雇用調整助成金

厚生労働省は、このほど、中東情勢の影響による原材料の入手困難や価格高騰などで、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者に対し、従業員へ支払った休業手当などの一部を助成する制度。雇用維持を図りながら、事業継続を目指す中小企業や助成金センターで受け付けている。詳細は、厚労省「雇用調整助成金サイト」を参照。

中東情勢で雇調金活用を厚労省

となる。

け付けている。詳細は、厚労省「雇用調整助成金サイト」を参照。

エイジフレンドリー補助金

高齢者の労災防止を支援

厚労省は、令和8年度「エイジフレンドリー補助金」により、中小企業事業者に、高齢者に対する、労働災害防止対策や、健康増進に向けた取り組みに要する経費の一部を補助する。これに伴い、執行団体

の日本労働安全衛生コンサルタント会が申請を受け付けている。申請は、郵送または電子申請システム「Jグランツ」で行う(メールでの申請は不可)。受付期間は10月31日まで(当日消印有効)で、支払請求書類の受付は9年1月31日まで(同)となる。

補助対象は、運輸業の場合、常時使用する労働者が300人以下、または資本金・出資総額が3億円以下の中小企業事業者。あわせて、1年以上事業を継続しており、自社の労災保険適用の年齢労働者(60歳以上)

申請受付10月31日まで

申請は、郵送または電子申請システム「Jグランツ」で行う(メールでの申請は不可)。受付期間は10月31日まで(当日消印有効)で、支払請求書類の受付は9年1月31日まで(同)となる。

カスハラ防止対策推進事業

東京しごと財団

東京しごと財団は、都内中小企業等を対象として、令和8年度カスハラ防止対策推進事業(カスハラ)の第1回募集を開始する。カスハラ対策の促進と、働きやすい職場環境の整備を目指す。募集期間は、令和8年4月1日以降、事前エントリーまでに、カスハラ防止対策コース(100万円)を申請する。

進に向けた取り組み(4分の3/30万円)など、各コースにはそれぞれ補助要件が設けられている。また、専門家のサポートを受ける。詳細は、同会の「エイジフレンドリー補助金事務センター」のホームページを参照。

申請受付10月31日まで

申請は、郵送または電子申請システム「Jグランツ」で行う(メールでの申請は不可)。受付期間は10月31日まで(当日消印有効)で、支払請求書類の受付は9年1月31日まで(同)となる。

改正物流法は、物流企業というより荷主企業に対して規制措置を導入することに重きが置かれている。にもかかわらず、帝国データバンク(TDB)が4月に実施した調査では、「改正物流法を知っている」との回答は2割にも満たないという、衝撃的な結果が出た。荷主の中でも特にターゲットとなっている小売(着荷主)に至っては、認知度は9.2%と1割弱にとどまっており、法の実効性確保に向けた周知徹底が課題となっている。

運輸 点描

認知度低い改正物流法

改正物流法は、第1弾が2025年4月に施行され、すべての荷主・物流事業者が物流効率化への努力義務が課された。今年4月に施行された第2弾では、年間貨物取扱量9万ト以上の特定荷主(約3200社)と保有車両数150台以上の特定貨物自動車運送事業者(約790社)などに、中長期計画の作成と定期報告を義務付けた。

TDBの調査には1万538社から回答があったが、改正物流法を「制度の内容を含めてよく知っている」は2・8%、「ある程度知っている」は14・0%で、あわせて16・8%に過ぎなかった。

荷主の7割近く「知らない」CLOに働きかける必要あり

停滞が懸念される中、重要と考える対策についても尋ねており、「関係事業者間での連携の強化」が39・3%でトップとなった。物流課題は、自社単独では解決しにくいとの認識が広がっていることがうかがえる。

NX総研の調査では、既に取り組んでいる、あるいは取り組みを検討している内容についても聞いている。「輸送スケジュールやリードタイムの緩和」や「パレット利用を推進」の回答割合は約6・8割と高い一方、「共同配送など他社との連携」は約4割にとどまった。TDBの調査と同様、自社だけで完結しない取り組みほど、実施のハードルが高い傾向がある。

改正物流法は、荷主や物流事業者が取り組むべき内容を、国が判断基準として示している。取り組みが不十分な場合は指導・助言が行われ、調査公表の対象となる可能性もある。つまり、取り組みが全くされていないと、社名公表もあり得るのだ。TDBの調査結果から、認知度の低さを踏まえて、今後「取り組みが全くされていない」として、対応を求められる企業は少なくないだろう。

一方、改正物流法第2弾では、一定規模以上の荷主企業に物流統括管理(者CLO)の選任を義務付けている。法施行は今年4月だが、CLOの選任は中長期計画を提出する10月までに行えばよいことになっている。

役員クラスのCLO(ライター 澤田誠)

ラ対策に関するマニュアルを作成または改定し、その基本方針の社内外への周知を行うとともに、①録音・録画環境の整備、②AIを活用したシステムなどの導入、③外部人材の活用——のいずれか一つの実践的な取り組みを実施していることが要件。申請は事前エントリー制で、受付期間は6月25日午前10時から7月9日午後5時まで。受付件数は2500件で、応募多数の場合は抽選を行う(先着順ではない)。なお、同奨励金は8年度に2回の募集を予定している。事前エントリー通過企業

第1回申請受付を開始

詳細は、「カスハラ防止対策推進事業企業向け奨励金」の特設サイトを参照。

▽問い合わせ先「東京しごと財団企業支援部企業支援課カスハラ防止対策推進事業事務局(03・4446・4621、平日午前9時〜午後5時、土日祝日を除く)

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックアイカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当・青木)

高島平 03-6906-5960 (担当・磯田)

ホームページ <http://www.setagaya-yss.co.jp>

E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

自動点呼に関する説明会

台東・深川・城東・墨田・荒川各支部

東京都トラック協会 武ホテルレバント東京
台東支部（松本有司支部長）、5支部合同による「自動点呼説明会および自動点呼機器体験会」を開催
野利幸支部長）、墨田支部（眞田浩支部長）、荒川支部（金原裕一支部長）
は6月11日、墨田区の東川支部は「法改正や人手不足を背景に、管理者

の業務負担は増加している。自動点呼システムの導入は負担軽減につながるため、各社の実情にに応じて導入を検討してほしい」とあいさつした。

説明会では、共栄システム代表取締役の前田繁孝氏が「多様化する点呼対面・自動・遠隔・IT・選択のポイント」と題して講演したほか、

トレーションを行った。
前田氏は、対面・自動
遠隔・ＩＴの各点呼の特
徴を説明。ＩＴ点呼には
安全性優良事業所（Ｇマ
ーク）の取得が必要であ
る一方、令和５年４月か
ら運用が始まった新基淮
の遠隔点呼と自動点呼で
は、実施１０日前までに運
輸局へ届け出ることです
用でき、承認（審査）は不

やインターネット通信環境の整備、盗難対策が必要になることを説明した。さらに、発熱や高血圧など乗務前の健康状態が記録されることから、健康管理の重要性についても触れた。

前田氏は、悪質違反や健康起因事故、車両故障事故を防ぐためには、「生きた点呼が必要」と強調。

なく、安全・安心輸送を支える点呼の重要性を訴えた。その上で、事業者ごとの特徴的な点呼場の事例を紹介しながら、可能な限り、対面点呼を実施し、対面での実施が難しい場合には、遠隔点呼や自動点呼を活用するなど、状況に応じて使い分けながら効率化を図ることが大切とアドバイスし

共に学び、成長する場へ

交換を通じて互いに学びあい、それぞれ
の企業が抱える課題や取り
組みを共有しながら、切磋
琢磨していくことが重要と
位置付けた。

その上で、関
ト協青年部会
の活動を通じ
て「共に学び、

からだ・メンタルヘルス
電話・Webで健康相談
お気軽にご利用を！ **無料**

東京都トラック協会は、会員事業者の従業員・被扶養者・従業員の2親等までを対象に、電話による無料の各種健康相談を行っている。「からだの悩み」は24時間・365日年中無休で受付。

「こころの悩み」のメンタルヘルス関係の相談には心理専門職が相談に応じる（平日午前9時～午後9時／土曜日午前10時～午後6時）。

◆ 電話相談窓口 ◆

フリーダイヤル 0120-109-371

あわせて、健康情報に関するWebサイト・アプリ「みんなの家庭の医学」(<https://kateinoigaku.jp/>団体コード=tora)も利用可能。

区民まつりに参加

東卜協
世田谷支部

東ト協世田谷支部(種子田清志支部長)は6月6・7日の2日間、第47回「せりがやふるさと」は毎年開催されている恒例行事だが、今年は第20回アジア競技大会の馬術競技会場となることから、開催時期を前倒しして行われた。

の人たちが訪れた。

に引き続き、トラックスデ
イラーの協力により、
大型トラクターヘッドの
運転席への乗車体験と死
角体験を実施。迫力ある
大型車両に実際に乗れる
ことから、多くの親子連
れが列を作る人気ぶりだ
った。

最新機器の体験会を併催

ーション、東
海電子の各担
当者が、自動
点呼関連製品
やサービスに
ついて、動画
などを用いて
説明するとと
もに、会場内
で自動点呼機
器のデモンス

また、遠隔点呼では機器・システム要件や施設環境要件、運用上の遵守事項など25の要件を満たす必要がある一方、自動点呼では要件を満たした機器の導入が必要になると解説。実運用に当たっては、出勤ラッシュ時には1人当たり2〜5分程度を要することや、設置場所の確保に加え、電源

大人気の大形トラック乗車体験



足跡をたどりともに未来へ歩む

東ト協は6月5日、港区の明治記念館で三組織（ロジステイクス研究会・青年部・女性部）合同総会懇親会を開催し、副会長や支部長をはじめ、多くの来賓が出席した。

冒頭、三組織を代表して新任の大島弥一ロジ研本部長、東ト協の鎮目隆雄副

長があいさつし、「今年で2回目の合同懇親会となる。新たにロジ研本部長として今後2年間、ロジ研のあり方を改めて考え、東ト協本部にも積極的に提言できる組織にしていきたい。皆さまの協力をお願いする」と述べた。

続いて、来賓として東京運輸支局の鎌塚俊充次長、京運輸支局の鎌塚俊充次長、東ト協の鎮目隆雄副

このほか、自動車事故対策機構（NASSVA）の協力により、適性診断機器の体験コーナーを設置。トラックスタージで広げられた。

東卜協 三組織合同總會懇親会



会長が祝辞を述べた。

乾杯に立った原玲子女性部本部長は、「設立から青年部は42年、ロジ研は38年、女性部は35年の歴史を重ねてきた。先輩の方の築いてきた足跡は感



田順一 青年部本部長
が閉会あいさつに立
ち、「業界に前向き
で分かりやすいメッ
セージが発信される
ことで、若手の台頭
につながり、青年部の活
動も活発になる。第20代
本部長として、精いつぱ
い取り組んでいきたい」と
決意を述べ、閉会した。

慨深く、これを汚すことなく、未来を見据えて歩んでいかねければならない」と述べ、三組織のさらなる発展を願い、乾杯の発声のもと歓談となった。

東ト協女性
部（原玲子本
部長）は6月
5日、東ト総
合会館で第46
回「女性経営
者物流セミナー
」を開催し、
講師として招

法改正のポイントを解説

適正な事業運営が報われる

東ト協女性部（原玲子本部長）は6月5日、東ト総合会館で第46回「女性経営」と述べ、近年の法整備により、適正な経営に取り組む事業者が、正當に評価される環境が整いつつあるとの認識を示した。

セミナーでは、改正物

間の実現」、貨物自動
運送事業法については、
産業並みの賃金水準
「天現」にあると説明。
正物流関連法では、荷
主・荷役時間の短縮や
効率率の向上が求めら
れており、発荷主だけ
でなく、着荷主も
対象となる点がポイン
トになると指摘し
た。

持続可能な物流の実現には、荷主や産業界、消費者を含めた社会全体の理解と協力が欠かせないと、法改正を追い風にさらなる物流効率化を進めるべきだと訴えた。



東卜協
女性部

全産業・死亡者 過去最少に

厚生労働省はこのほど、令和7年(1~12月)の死亡者数は80人で28人(25・9%)減少し、業種別では建設業、製造業に次いで3番目に多かった。死傷者数は1万5632人で660人(4・1%)減少した。業種別では製造業、商業、保健衛生業に次いで4番目に多かった。

死亡者の型別にみると、死亡災害では「交通事故(道路)」が43人で4人(10・3%)増加し、全体の53・8%を占め、最も多かった。

一方、死傷災害では「荷役作業中などの「墜落・転落」が4126人で62人(1・5%)減少した。

業種別にみると、陸上貨物運送事業における死亡者数は2972人、「動作の反動・無理な動作」が2738人、「はさまれ・巻き込まれ」が1463人と続いた。

厚労省では、第14次労働災害防止計画において、陸上貨物運送事業の死傷者数を9年までに4年比で5%以上減少させる目標を掲げている。8年度も引き続き、目標の達成に向け労働災害防止対策に取り組んでいくとしている。

死亡・死傷ともに減少

管内労働局 陸運業の労災

東京労働局がまとめた令和7年の労働災害発生状況(確定値)によると、管内の死亡者数は36人で前年比2人(5・9%)増加したが、死傷者数(休業4日以上)は1万1085人で同318人(2・8%)減少した。

このうち、陸上貨物運送事業における死亡者数は2人で同2人(50・0%)、死傷者数は1062人で同6人(0・6%)それぞれ減少した。

これを「第14次労働災害防止計画」の目標の起算点である4年比でみる

と、死亡者数が2人(50・0%)、死傷者数が15人(1・4%)減少した。

また、管内の死亡者数は36人で前年比2人(5・9%)増加したが、死傷者数(休業4日以上)は1万1085人で同318人(2・8%)減少した。

労災発生状況 7年(確定値)

Gマーク事業所 東運支局長表彰

東京都トラック協会は、令和8年度の安全・性優良事業所(Gマーク事業所)として、東京運輸支局長表彰に選出された。表彰基準をすべて満たす事業所の申請受付を行い、東運支局に推薦します。

申請書類の提出期限は、8月7日まで。表彰基準は次の通り。

①10年以上連続してGマーク事業所に認定

②表彰日の直前3年間に東運支局管内で、事故報告規則に規定する第一当事者または第一

当事者と推定される事故を起こしていない事業所

③表彰日の直前1年間に東運支局管内で、監査に基づく行政処分を受けていない事業所

④交通事故防止に係る定期的な運転者教育を実施している事業所

⑤デジタル式運行記録計、またはドライブレコーダーのいずれかを事業所の配置車両の90%以上に装着し、その効果を運転者教育などに反映している事業所

⑥Gマーク認定により、荷主からの評価もしくは安定的な経営を確保している事業所

トラック事故速報

死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

◎運行中は緊張感を保ち、前方や周囲の道路状況の把握を怠らないこと。また、「かもしれない運転」を励行し、未然に危険を回避できるよう努めること。

日時	6月11日(木) 5時50分頃発生(晴天)
場所	小金井市内(区市町村通・北大通り)
当事者	①自動二輪車(男性50代死亡)×②事業用大型貨物車(男性60代)
状況	小金井市本町 本町二丁目 至 亜細亜大学 至 東京学芸大学
概要	事業用大型貨物車が、北大通りを亜細亜大学方向から東京学芸大学方向へ交差点を直進中、右折してきた自動二輪車と衝突したもの。

◎事故を起こしてしまった際は、被害者の救護、周辺交通の安全確保等に努めること。

日時	6月17日(水) 6時50分頃発生(晴天)
場所	葛飾区内(都道・環七通り)
当事者	①自動二輪車(同乗)(男性10代死亡)×①自動二輪車(男性10代)×②家用普通乗用車(男性50代)×③事業用大型貨物車(男性40代)
状況	至 亀有 葛飾区奥戸 至 葛西
概要	③事業用大型貨物車が環七通りを亀有方向から葛西方向に進行中、同方向に進行していた①自動二輪車が②家用普通乗用車に衝突後、③事業用大型貨物車にぶつかり、①自動二輪車の同乗者が③事業用大型貨物車の後輪に轢過されたもの。

違反別 営業用トラック関与の交通事故

令和8年5月末
年間累計

	安全不確認	前方不注意	交差点安全通行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計
大型	1当件数 53	12	15	2	0	7	1	0	1	15	106
関与事故件数	50	11	15	2	0	6	1	0	1	41	127
(前年比)	+6	-1	±0	±0	±0	+3	+1	±0	+1	-17	-7
中型	1当件数 29	23	13	1	0	3	3	0	0	12	84
関与事故件数	30	19	13	1	0	3	2	0	0	26	94
(前年比)	+3	±0	-2	-3	±0	-7	-1	±0	±0	-8	-18
発生準中型	1当件数 66	36	12	9	0	11	2	0	0	29	165
関与事故件数	65	31	13	9	0	10	2	0	0	78	208
(前年比)	+15	-8	-14	+4	-3	+4	-1	±0	±0	-14	-17
普通軽	1当件数 185	85	79	20	12	22	8	4	4	72	491
関与事故件数	189	76	95	20	12	22	10	4	4	203	635
(前年比)	+31	+9	+5	+8	-2	-3	+2	+2	+3	+27	+82
合計	1当件数 333	156	119	32	12	43	14	4	5	128	846
関与事故件数	334	137	136	32	12	41	15	4	5	348	1,064
(前年比)	+55	±0	-11	+9	-5	-3	+1	+2	+4	-12	+40
死者数	大型貨物車(1当) 2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
中型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
準中型貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
普通・軽貨物車(1当)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

たくさんの笑顔が走る 首都東京

令和8年5月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は、11,773件で、前年同期比288件減少したが、死者57人で前年同期比3件増加となった。

営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注参照」)発生件数(本年累計)は、1,064件で前年同期比40件増加し、死者8人で前年同期比2件増加となった。

事故類型別では、右左折時の車両相互事故が123件で前年同期比15件減少し、死者数は0人だった。

違反別では、安全不確認による関与事故件数が334件で、前年同期比55件増加となっている。

関交協 オリジナル 冊子

漫然運転を防止するための 睡眠対策マニュアル

「ドライバーの眠りとその問題」

関交協では運送事業者の皆様とともに、交通事故削減を最重要課題と位置づけ、様々な事故防止事業に取り組んでおります。

背景(国交省)

- ・多重追突事故の原因が指導不足と公表
- ・睡眠時無呼吸症候群(SAS)マニュアルの改訂
- ・スクリーニング検査実施の有無の報告義務

対策

- ・医学博士 高橋正也氏監修
『漫然運転を防止するための睡眠対策マニュアル「ドライバーの眠りとその問題」』作成

活用方法

- ・事業者の安全教育に活用
- ・ドライバー指導教材として利用
- ・漫然運転防止→事故削減

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで

TEL : 03-5337-1754

MAIL : ansui@kankokyo.or.jp



QRコードから
すぐにお問い合わせ



関東交通共済協同組合

事業計画案などを承認 運賃問題へ積極的に取り組む



東ト協連 8年度 通常総会

前・業務後自動点呼機器などの共同購入事業を積極的に推進する。

さらに、専用インターネットを利用した「東ト協連型安全確認サービス」の利用拡大と、同サービスシステムの構築や、東ト協連型Web K I T事業(会員協同組合・組合員の普及促進)を積極的に推進することとした。

東京都トラック運送事業協同組合連合会(椎名幸子会長)は6月16日、港区の第一ホテル東京で令和8年度(第47期)通常総会を開催した。7年度事業報告・決算関係書類(案)、8年度事業計画・収支予算書(案)などを審議し、原案通り承認した。

このほか、一貫した高速道路料金計算業務の取り組みの推進や、高速道路利用事業の円滑な運営に努めるとともに、通行料金の引き下げや各種割引制度の維持・拡充運動を展開する。また、運輸事業関連機器の購入コスト削減に向け、連合会機能を生かした業務リットを生かした業務

7年度事業報告では、燃料油共同購入事業について、東日本宇佐美と平成18年3月から実施してきた燃料油などの共同購入事業を7年9月末で終了したことを報告した。

今年度事業計画では、運送原価の的確な把握と意識徹底に向け、「運賃

動向に関するアンケート調査」の継続実施により、適正運賃の収受や不正取引の是正に向けた荷主・行政への働きかけを行うほか、組合員事業者への啓発活動を通じ、引き続き運賃問題へ積極的に取り組む。

また、総会終了後には懇親会を開催。あいさつに立った椎名会長は、「昨年、東日本宇佐美との20年にわたる燃料油共同購入事業を終了した。東ト協連は大きな過渡期に差しかかっている。今後、協連がどうあるべきか、組合員の皆さまの意見を伺いながら新しい協連の形をつくっていきたい。これまで以上のご支援、ご協力をお願いしたい」と述べた。

8年 東京運輸支局長 陸運関係功労者表彰

整備、自動車、二輪の各部門合計21人、および自

東京運輸支局は6月18日、同支局内で令和8年「陸運関係功労者東京運輸支局長表彰式」を開催した。トラック部門のほか、ハイタクや自動車



動車特定整備事業者として3事業者を表彰した。このうち、東京都トラック協会関係者は12人が受賞。トラック部門を代表して、小宮山繁氏(滝興運・葛飾)が、勝家省司支局長から表彰状を授与された(写真)。

中東情勢巡る影響調査 燃料高騰が運輸業直撃

497社から回答を得たもの。このうち運輸業は103社。

日本商工会議所と東京商工会議所は6月12日、「中東情勢の緊迫化による中小企業へのエネルギー等の影響調査」の集計結果を公表した。運輸業では全業種で唯一、燃料価格の高騰によるコスト

ト負担の増加が最大の経営課題となったほか、価格転嫁の遅れも目立っている。燃料費負担の深刻さが浮き彫りとなった。調査は5月7日から29日にかけて実施し、全国の商工会議所会員企業2

増えた分身はあとで里子に出すて

増えた分身はあとで里子に出すて

増えた分身はあとで里子に出すて

矢作憲一(菱東運輸倉庫・葛飾)▽小宮山繁 滝興運・葛飾)▽大森哲也(光星運輸・葛飾)▽古田寛樹(コダ運輸・多摩)▽北澤政人(北澤梱包運輸・多摩)▽馬場義和(三玉運送・多摩)▽棚橋豊(有楽運送・多摩)▽前嶋洋樹(成洋商事・多摩)

「私の安全衛生宣言コンクール」開催



東京労働局は、事業場における労働者・使用者の安全気運を高めることを目的として、「私の安全衛生宣言コンクールSafe Work TOKYO 2026」を開催し、都内で働く労働者から安全衛生に関する宣言を広く募集している(写真は募集チラシ)。募集期間は7月1日(水)～10月7日(水)まで。募集場所は、都内の労働局で集約している。

中東情勢の緊迫化による経営への影響を業種別にみると、運輸業では「燃料価格の高騰によるコスト負担の増加」が95・1%で最多となった。建設業や製造業、宿泊・飲食業では「仕入価格の高騰によるコスト負担の増加」が最も多かったが、運輸業のみ燃料価格高騰の影響が最も高い割合を占めている。

また、燃料や石油化学製品の供給途絶や、著しい価格高騰が生じた場合の事業継続期間については、運輸業の35・9%が「1週間以内」と回答。全業種平均の16・8%を大きく上回り、燃料などの供給途絶が事業継続の難しさに直結する厳しい実態が示された。

政府・自治体に求める課題となる。

向 ファイル ◇5月分◇

●国土交通省、高品位尿素水(AdBlue®)などやエンジンオイルなどの油脂類について、トラック運送事業者に対し、安定供給確保に向けた協力を相次いで要請する(12日)

●参議院本会議、「物資の流通の効率化に関する法律の一部を改正する法律案」が賛成多数により可決・成立する。長距離輸送を複数のドライバーで分担する「中継輸送」の推進を位置づける(13日)

●東京都トラック協会女性部、各支部長・支部を通じて「トラック・物流Gメン活動における荷主向け施設内トイレ使用に関するチラシ」の配布に伴う配送先の施設内トイレ使用における注意事項について」を发出し、会員事業者者に周知徹底を求める(14日)

●東ト協の水野功会長、横浜市のパシフィコ横浜で開催された「ジャパントラックショー2026」の主催者特別講演で、令和8年度第47回「東トトラック運送業の進む道」をテーマとするパネルディスカッションに、パネリストとして登壇し、協会長としての意見を述べる(15日)

●日本商工会議所・東京商工会議所「中小企業

の働き方改革に関する調査」の集計結果を公表する。運輸業で「事業運営に制約が生じている」と回答した企業の割合は、全業種で最も高い35・7%に上る(25日)

●東ト協、令和8年度第1回理事会Web併用)を開催し、7年度事業報告・収支決算(案)や公益目的支出計画実施報告書(案)などの総会提出議案を審議・承認する。また、会長候補者選出・管理委員会から提案された現会長の水野功氏を、8・9年度会長候補者として承認する(26日)

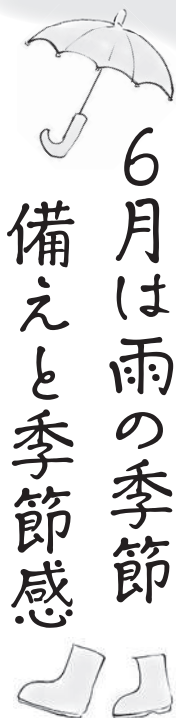
●東京都、中小企業者などの物流分野における脱炭素化を支援する「企業のScope3(物流分野)対策促進事業(陸上輸送)」の申請受付を開始する(27日)

●厚生労働省、令和7年の労働災害発生状況(確定値)を公表する。死亡者数は700人で過去最少に、休業4日以上

の死傷者数は13万5333人で、ともに前年比で減少する。陸上貨物運送事業における死亡者数、死傷者数ともに減少する(27日)

●東ト協、府中市の警視庁府中運転免許試験場で、令和8年度第47回「東ト協ドライバー・コンテスト」の実科競技を実施する。今大会では、出場辞退者を除く学科競技参加者32人が出場し、プロトラックドライバーとしての運転技術を競う(31日)





6月は雨の季節 備えと季節感

梅雨も後半に入った。終わりに近づくと、大雨による被害が発生することが多いという経験的なの思いがあり、梅雨明けまでは安心できない。このところ、梅雨期の水害が増えているように感じるが、今年は気象庁で新たな防災気象情報の運用が5月29日から始まり、梅雨入り早々、その情報に基づく対応が求められることとなった。

新たな防災気象情報を実際に目にする機会となったのが、台風6号だった。6月初めには14年ぶりに本州へ上陸し、テレビなどでは気象情報や台風情報とともに、新たな防災気象情報を「実践運用しながら周知」するかのよう解説されていた。

今回の見直しでは、防災気象情報と自治体が発表する避難情報とが連動し、避難の判断がしやすくなった。防災気象情報に対応する「警戒レベル」を1〜5で示し、危険度が数字で分かるようになっている。対象となるのは河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮で、それぞれの状況に応じて取るべき行動が示されている。なお、河川氾濫に関する情報は、1級河川



町中に見かけたアジサイ
(ガクアジサイ/手鞠咲きアジサイ)

などの大きな河川に限って発表されるもので、身近な小さな河川などは対象となっていない。例えば「レベル3・大雨警報」であれば、低地の浸水や中小河川の氾濫などへの警戒が必要など段階であり、高齢者や子どもなど避難に時間を要する人は、早めの避難が求められる。実際にテレビでも「レベル3」が発表されると、「高齢者や子どもなど、避難に時間がかかる人は早めの避難を」と呼びかけていた。これまで行政側から出される防災情報に対し、「長年の経験からまだ大丈夫」「我が家は今まで問題なかった」などと考え、現状を過小評価する「正常性バイアス」が働きやすかった。危険度を数字で示すことは、危険への意識を高め、早めの行動を促すためのメッセージともいえるだろう。

大雨は願い下げだが、この季節を彩るものといえばアジサイだ。塀代わりに植えられて群落をなし、咲き誇る姿を見せていたり、庭先でひっそりと風情を漂わせていたり、街路樹の一角で人々の目を惹きつけてくれる。アジサイといえば、花を多く付けた丸い形の、華やかな手鞠咲きを思い浮かべる人が多いだろう。万葉集にも詠まれているように、日本では古くから親しまれてきた花である。

梅雨を彩るアジサイの風情



高幡不動尊/巡拝路の両側に咲くアジサイ



白山神社/「白山富士」を彩るアジサイ

だ。塀代わりに植えられて群落をなし、咲き誇る姿を見せていたり、庭先でひっそりと風情を漂わせていたり、街路樹の一角で人々の目を惹きつけてくれる。アジサイといえば、花を多く付けた丸い形の、華やかな手鞠咲きを思い浮かべる人が多いだろう。万葉集にも詠まれているように、日本では古くから親しまれてきた花である。

基本種はガクアジサイで、手鞠咲きに比べると地味だが、梅雨の風情によく似合うと昔から愛されてきた。ガクアジサイは、「額」と名付けられているように、オシベやメシベを持つ小さな本来の花(両性花)を中心に、その周囲を額縁のように装飾花が取り囲む。装飾花は受粉のため、虫を引き寄せる役割を担っている。種子はつけない。手鞠咲きは、この両性花が装飾花へと変化するように品種改良されたもので、そのため挿し木で増やせる。アジサイは日本で生まれ、中国を経てヨーロッパへ渡った。その地で品種改良され、西洋アジサイとして再び日本へ戻ってきたという歴史を持つ。

アジサイの名所として知られる文京区白山の白山神社では、約3000株のアジサイが境内や隣接する公園を彩り、「白山富士」で知られる富士塚を美しく包み込んでいた。また、日野市の高幡不動尊(金剛寺)には全国や海外から集められた約250種7800株のアジサイが植えられ、山内八十八ヶ所の巡

拝路沿いで静かに咲き、参拝者の心を和ませている。防災への備えを忘れずに過ごしながら、雨の季節ならではの風情にも目を向けてみたい。

あちこち 見て ある記



皇族も避けた逸話も

悪縁を断つ板橋の名所

縁切榎

「縁切榎」と聞くと、どこか物騒な響きがあります。私も訪れる前は、人間関係のトラブルを抱えた人が集まる、怨念や情念が渦巻くような場所なのでは、と勝手な想像をしていました。

しかし、旧中山道の宿場町・板橋宿に程近い、住宅街の中にたたずむ縁切榎は、悪縁や病氣、災難との縁を断ち切り、良縁を結ぶご利益があるとき

れ、古くから信仰を集めています。保護シールが用意されており、奉納後も願いの事内容が見えないよう配慮されています。

人にとっては打ち明けにくい悩みも少なくありません。悪縁を断ち、新たな一歩を踏み出したい。そして、その願いがかなったなら再びこの地を訪れ、お礼参りで感謝を伝えたいところです。

縁切榎 板橋区本町18

ポケット

今回は、青梅市にある御岳山に行ってみました。JR御岳駅からバスとケーブルカーを乗り継ぎ、標高831mの御岳山へ。参道には茶屋や土産物店が並び、多くの外国人観光客の姿も見られました。武蔵御嶽神社の鳥居に到着し、長い石段を上ると結構な運動になります。本殿からは関東平野を一望でき、しばし景色を眺めながら休憩。武蔵御嶽神社には、かつて日本に生息していたニホンオオカミの神様「大口真神(通称おひぬさま)」も祀られていることを、今回初めて知りました。そのため、愛犬とともに参拝する人も



岩場は滑りやすく、私も足を取られて派手に転倒してしまいました。帰りは人通りの少ない遊歩道を歩いたため、熊に遭遇しないうえに、3時間ほどで楽しめる手軽な山歩きを満喫できるので、お勧めです。

御岳山で清流を歩く 多摩の霊山は楽しい

多く、今回もダックスフントが祈禱を受けていました。おひぬさまが描かれた魔除けや盗難除けのお札もかっこいい。参拝を終えた後は「ロックガーデン」へ向かいました。ここは、大小さまざまな岩の間を清流が流れ、岩は一面の苔に覆われています。武蔵御嶽神社が二ホンオオカミを祀っていることもあり、どこか『もののけ姫』の世界を思わせる雰囲気です。東京にいなながら、これほど豊かな自然を味わえることに少し感動しました。沢沿いを進むと、「綾広の滝(写真)」に到着します。落差は10mほどで、なかなかの壮观。そもそも、御岳山は古くから霊山として知られ、この滝も修行場の一つ。宿坊では、滝行宿泊プランも行われているそうです。ここから折り返し、もう一つの見どころである「七代の滝」へ向かいました。途中には「滑りやすいので注意」と書かれた横断幕がありました。本当に岩場は滑りやすく、私も足を取られて派手に転倒してしまいました。

三丁目

アメリカとイランが戦闘終結に向けて合意との報道で、さっそく原油価格が下落した。これにより、国内の燃料価格も下がる。期待される。ただ、すぐに紛争前の水準に下がるわけではない。ホルムズ海峡が開放されても、原油供給が平時に戻るには相当な時間を要する。しばらくは割高な水準が続く、国内の燃料高が収まるのはまだ先になりそう。だが、気がかりな問題は燃料補助金が今後どうなるかだ。今年度補正予算の編成に際し、政府・与党から補助金見直しに言及するコメントが出ている。今後、和平合意が成立すれば、遠からず、具体的に検討の俎上に上がる可能性がある。◆現状、燃料価格は補助金で抑えられているが、紛争前よりはるかに高い水準。トラック燃料の軽油も、かりで、運送事業者の経営を圧迫し、コスト増を転嫁せざるを得ない状況。それが物流コストを押し上げる要因の一つでもある。◆補助金の見直しは今後の価格次第だが、こうした側面も考慮する必要がある。物価高対策の観点に立てば、現状の割高な水準ありきでなく、より抑えることも考えるべきではないか。